

台風19号の水害に関する農作物等の技術対策(第4報)

福島県農林水産部農業振興課

1 水 稲

- (1) 被災水田では、浸水や稲わら流失等による土壌の肥料成分の低下が心配されるため、土壌分析に基づいた適切な肥培管理をしましょう。
- (2) 米の放射性セシウムの吸収を抑制するためには、生育初期に土壌中の交換性カリ含量を高めることが重要です。稲わら等の施用による土づくりを基本に、土壌分析を行い、吸収抑制効果の高い塩化カリの施用により、土壌中の交換性カリ含量の目標値を確保した上で慣行の基肥（窒素・リン酸・カリ）を施用しましょう。

詳しい情報は、「ふくしまからはじめよう。」農業技術情報（第62号）「令和2年産米の放射性セシウム吸収抑制対策」(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-nogyo-nousin-gijyutu04.html>)を参考にしてください。

2 野 菜

- (1) 可食部が冠水し出荷を控えていた果菜類や葉茎菜類は、その後の生育が正常に回復し収穫時期をむかえた場合には、汚れや傷みなどが無いことを入念に確認した上で出荷しましょう。
- (2) 葉茎菜類や根菜類等の土中に可食部を有するものは、冠水後に収穫時期を迎えた場合には、傷みや腐敗性の病害等が無いことを入念に確認した上で出荷しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

